改正米国著作権法とNLM向け 相互貸借のための解説

U.S. Copyright Law Revised and U.S.-Japan ILL; for its Better
Understanding and Practical Study

日本医学図書館協会
相互貸借マニュアル作成委員会訳編*

井 上 英 新
藤 森 末 雄
古 沢 賢 一
角 田 昭 夫
裏 田 和 夫

- I 米著作権法第107, 108条の要訳
- II 同“第108条(g)(2)のガイドライン”全訳
- III ガイドライン要約と解説(CCG, CCL 判定基準)
- 資料1 米著作権法第107, 108条原文
- 2 同“第108条(g)(2)のガイドライン”原文

はじめに

現在、日本医学図書館協会加盟87館による国外向け文献申込みは全般的に増加の傾向にある。申込先国別ではアメリカ、イギリス、オランダが、主要三カ国である。二、三の理由でイギリス(BLLD)向けが急増し、アメリカ(NLM)向けは漸減の徴候を示しているようである。

しかしながら NLM 向け文献申込み件数は、1976(昭51)協会会計年度の場合1061件(謝絶を含む)と依然最高位である。

このような状況において、1976年改正の米国新著作権法が今年(1978)1月1日より実施されるに到ったことは、当然協会加盟館の国外向け相互貸借、即ち文献複写申込みに影響を及ぼさずにはおかぬ。

これに対し協会は相互貸借マニュアル作成委員会(以下、委員会)に対し、NLM 相互貸借申込書式の変更並びに米著作権法のうち該当条文の抄訳等に関する検討を委託した。このうち新しい書式についてはすでに3月中は印刷頒布されたが、以下は委員会が作成した改正米国著作権法解釈のための実用を意図した解説版である。

I 米著作権法第107, 108条(要訳)

以下は、「アメリカ合衆国法典、標題17著作権法」のうち、図書館間相互貸借に直接関係のある第107, 108条の原文について、相互貸借に携わる人々の理解を助けるために理解し易さを目標に大意を要約したものであって原文の逐語訳ではない。ただし原文にあたられる場合の参考のため、主要訳語を末尾に付記した。

第107条(排他的権利の制限: 公正使用)

第106条の規定(要旨: 第107条から118条までの規定に従うことを条件に、著作権所有者は自己の所有する著作権物を複製する権利など5カ条について、自から行なう権利及び他者に許諾する排他的専有権を有する)にかかわらず、批評、解説、ニュース報道、教室での授業、研究、調査等を目的とする場合は、公正使用であって、著作権侵害とはならない。

公正使用に該当するか否かの判断は、次の要素を考慮して行なうものとする。

- (1) 使用の目的及び性格(営利性を有するか否か、非営利の教育を目的とするかどうかなど)

* JMLA Interlibrary Loan Manual Committee
(昭和53年4月18日受理)

- (2) 著作権物の性質。
- (3) 著作権物全体にしめる使用された部分の量及び実質。
- (4) 著作権物を複製した場合の潜在市場価値に対する影響。

第108条(排他的権利の制限: 図書館及び公文書館による複製)

(a) 第106条の規定にかかわらず、図書館・公文書館または職務領域内で行うその職員が、本条に明記された条件内で、ある著作物から複製物1点(または音盤1枚)だけを複製すること、或いはそのような複製物を頒布することは著作権侵害とはならない。ただし、次のことを条件とする。

- (1) 複製または頒布が、直接または間接の商業的利益を目的としないで行なわれること。
- (2) 図書館・公文書館の所蔵資料が、
 - (i) 公衆に開放されているか、または、
 - (ii) 図書館・公文書館またはその親機関と特に関係がある研究者だけでなく、専門分野における研究を行なう他機関の利用者にも供されていること。
- (3) 著作権物の複製または頒布にさいし、著作権の表示を伴うこと。

(b) 本条に基づき複製及び頒布の権利は、保存及び安全保管のみを目的として原物通りに模写した複製物1点(または音盤1枚)に対して適用される。また、この権利は(a)(2)に記された図書館・公文書館から自館での保存用の目的で依頼された未発行著作物から複製物を1点複製し、頒布することにも適用される。ただし複製される対象物が図書館・公文書館に現に所蔵されていることを条件とする。

(c) 本条に基づき複製の権利は、破損、磨耗、行方不明、或いは盗難にあった著作物の代替の目的で、他機関所蔵の著作物を原物どおりに複製することについても適用される。

(d) 本条に基づき複製及び頒布の権利は、利用者が複製の申込みをした図書館・公文書館、または他の図書館等の所蔵資料からなされた1複製物、著作権のある集書または雑誌1号中の1論文について適用される。また、上述した以外の著作権物の1小部分の複製物1点をつくることについても適用される。ただし以下のことを条件とする。

- (1) 複製物が利用者の所有物となること、及び学習、研究、調査の目的に使用されること。

- (2) 図書館・公文書館が、著作権局の定めた規則の要求するところに従って作成した著作権に関する注意事項を、利用者の申込みを受ける場所にはっきり掲示すること。また複写申込用紙に表示してあること。

(e) 本条に基づき複製及び頒布の権利は、図書館・公文書館が然るべき調査ののち適正価格で取得することができないと判断した場合、利用者が申込みをした図書館所蔵資料中の1著作物全部または、かなりの部分(の複製、頒布すること)に及ぶ。ただし以下のことを条件とする。

- (1) 複製物が利用者の所有物になること、及び学習研究、調査の目的に使用されること。
- (2) 図書館・公文書館が、著作権局の定めた規則の要求するところに従って作成した著作権に関する注意事項を利用者の申込みを受ける場所にはっきり掲示すること。また複写申込用紙に表示してあること。

(f)

- (1) 図書館・公文書館の構内におかれた監督者不在の複製機器の使用については、図書館もしくはその職員に対し著作権侵害の責任があるとの解釈は行なわない。ただしそのような機器(またはその近辺)に複製行為が著作権法の対象となる旨の注意書を記していることが必要である。

(2) 項(d)によって著作物が得られた後であって、107条の公正使用の範囲を超えるものに関する利用者の不正使用は利用者の責任となる。

(3) 項(a)の各条件に従っており、視聴覚ニュース番組のために、図書館・公文書館より貸出された小部数の著作物または抜き物から更に複製、頒布することを規制しない。

(4) 107条の公正使用の権利、または自館の所蔵資料として他館から複製物を取得した図書館・公文書館がいつでも負わねばならぬ契約上の義務については、本条は何ら影響を及ぼさない。

(g) 本条に基づき複製及び頒布の権利は、同一資料について別々の機会に互いに無関係に行なわれた1著作物の複製または頒布に及ぶ。しかし図書館・公文書館またはその職員が以下の条件下にある場合には、この権利は適用されない。

- (1) 図書館またはその職員が、同一資料についての関連あるまたは会議のうけ為された多数の複製或いは頒布であると疑うことができたはずの場合、またはその事実を知っていた場合(1回の機会に行なわれたか、

ある期間にわたり行なわれたか、1人または2人以上による集合的使用を意図したものか、1グループの個々の構成員による個別的使用を意図したものかを問わず)。

(2) 項(d)に該当する資料1点または多数点の複製・頒布を組織的に行なう場合。ただし図書館・公文書館が、全体として当該著作物の予約購読または購入に代わるほどの量の複製物や複製された音盤の頒布を受けることを目的としているのではない図書館協定に参加することを妨げるものではない。

(h) 本条に基づく複製及び頒布の権利は、音楽作品、絵画、彫刻、映画、ニュース以外の視聴覚著作物等には適用されない。ただし(b)及び(c)によって認められた権利、または(d)及び(e)により複製、頒布される著作物の挿絵、図表その他これの類似物として発行される絵画等については、著作権所有者の排他的専有権が適用される。

(i) この法令の施行の日から5年後、及びその後5年毎に著作権局長は、著作者、書籍雑誌の出版業者、その他の著作物の著作権所有者、及び図書館利用者と司書との代表者達と協議した後、この108条が創作者の権利と利用者のニーズとの法的に意図された均衡をどの程度獲得したかの報告書を議会に提出する。その報告書は、新たに発生するかも知れない諸問題について記述することになり、権能を与えられた場合には立法上その他の勧告を議会に提出することになる。

※本章の要訳にあたって、以下の資料を参考にした。

アメリカ合衆国著作権法 大山房幸訳
著作権資料協会 1978

II “米著作権法第108条(g)(2)のガイドライン” 全訳(第94議会第2会期, 米国議会下院レポートNo.94-1733)

前文

協議委員会はガイドラインが現在及び将来にわたって、いかなるケースをも左右する具体的な規則或いは指示であることを意図してはいないし、またそのように考慮されるはずのものではないと考える。その目的は、通常図書館間で発生する写真複製業務における指標を与えるためであり、それ自身において、或いは他の状況に関して制限を加えたり、断定的であったりする意図はない。またそれは不断の評価と調製を明らかに必要とする流動的に発展する状況を扱う。

以上のような意図をふまえて、協議委員会はそれらを今日適用しようとする最も一般的な状況からみて、このガイドラインが第108条(g)(2)の但書を正しく解釈したものであるという点で合意に達している。

ガイドラインの本文は以下の通りである。

写真複製——図書館相互協定

序文

著作権法第108条(g)(2)は、もっぱら写真複製のための図書館相互協定の制限を扱っている。これによると著作物の組織的な写真複製は禁じているが、「その目的或いは結果として、頒布のための複製物や音盤を受ける図書館あるいは公文書館が、総合計が当該著作物の予約購読または購入の代りになるほどの量を受け取ることがない」ような図書館相互協定は認めている。

『著作物の新しい技術的な利用に関する全国委員会』(CONTU)は、上院及び下院のそれぞれの小委員会に次のような斡旋をした。それは「総合計量」という語句にどのような現実的な定義を与えたら合意に達せられるかについて、関係諸団体を集めて検討しようというものであった。CONTUは関係諸団体と協議し、後に述べるような解釈を示した。それに関しては主要な図書館、出版社、著者団体による実質的な合意を得た。CONTUは次のガイドラインが第108条(g)(2)の但書部分の主旨について有効かつ公正な解釈をしているものとする。

これらのガイドラインの意図するところは、図書館相互間に頻発する事例に対する108条の適用に指標を与えることにある。即ち、ある図書館が他の図書館から、申込期日より5年以内に刊行された定期刊行物の比較的新しい号の中の複数の論文の複数の複製物を、図書館間相互貸借で現物を借りる代りに入手するといった事例である。ガイドラインは申込期日より6年以前(満5年と1日目以前)に出版された定期刊行物の1論文または複製論文については、複製物の総合計量がどのくらいならばその定期刊行物の予約購読の代りになるかについて明記していない。このような場合における108条(g)(2)の但書の意味は、今後の解釈に残されている。

図書館間相互貸借の現行の慣例や、現物の貸借の代りに複製物を利用することは、写真複製のための集中的処理を行なうという特別な目的で存在する公的、私的な1つまたは幾つかの代理店や団体を含む組織によって補足されたり、ほとんど取って代られることになるのではないかといった指摘もなされた。もちろん、これらのガイ

ドラインはそのような状況に際しては適用されない。

第108条(g)(2) の但書のためのガイドライン

1. 108条(g)(2) において用いられた次の表現「当該著作物の予約購読または購入に代わるほどの総合計量」とは、

a) 申込期日から5年以内に刊行されたいかなる定期刊行物（1つの定期刊行物のいかなる号という意味でなく用いられた場合には）に収載された1論文または複数論文について、1カ年（暦年）に6部以上という意味である。

但し、上述のガイドラインは、申込期日より6年以前（満5年と1日目以前）に刊行された定期刊行物のいかなる号についても、その中の1論文たると複数論文たるとを問わず、1部たると複数部たるとを問わず借受館の依頼に対し直接にも間接にも適用されない。

このガイドラインは、「[当該定期刊行物] の総合計量」という場合の当該定期刊行物とは何かを定義しようとするものではない。

b) 108条(d) [小説と詩を含む] に述べられた他の資料に関しては、形式の如何を問わず著作物（編集物を含む）からの複製物または音盤の複製依頼に対して、著作権物の場合はその有効期間中を通じ、1カ年（暦年）に合計6部以上という意味である。

2. 借受館が、

a) ある定期刊行物の予約購読についてすでに契約中であるか、または新たに契約を行なった場合。

b) その所蔵資料中にあるか、または他の著作権物の複製物1部または音盤1枚を新たに購入契約した場合。

a), b) いずれの場合も、借受館自身が当該資料を正当な理由で利用できないために、他の図書館または公文書館（貸出館）より複製物を得ようとする時、貸出館が借受館の依頼に応じるのは、借受館が自館所蔵資料から複製する場合と同じであると見なしてよい。

図書館または公文書館は、108条(g)(2) 以外の項号に抵触せず、かつ自館の所蔵資料からそのような複製物を供給できたであろう状況下においてのみ、貸出館へ複製物または音盤の複製を申込みことができる。

3. これらのガイドラインの適用範囲内にあるいかなる資料の複製物または音盤も、その申込みがこれらのガイドラインに準拠してなされている旨を借受館の代表者によって付記されない限り、貸出館により拒絶される。

4. 借受館は資料の形態如何を問わず、このガイドラインの適用対象物の複製物または音盤について行なったすべての申込記録を維持管理するものとする。

また借受館は実際に供給されたものの記録を、それぞれ申込みがなされた年の翌年から起算して満3年目の年末まで保管するものとする。

5. これらのガイドラインは108条(i)のための再審理の1部として、この法律の実施期日より5年以内に再検討されるものとする。

III ガイドライン要約と解説（CCG, CCL 判定基準）

この章で述べられる基準は、医学図書館等における相互貸借担当司書が、NLM等アメリカ合衆国内の Health Sciences Library に実際に送る文献複写申込書の記入の際、最初に必要な重要な作業の1つである。

ガイドラインの要約

1. a) 申込期日から起算して、発行後5年以内の定期刊行物の中の1論文は、1年に5部まで申込可。（6年以前の刊行物は制限外）

b) 定期刊行物以外については、1年に5部まで。

2. 契約中の定期刊行物（図書）のかわりに入手した複製物は、自館資料からの複製物と同じく扱ってよい。

3. CCG または CCL と借受館により付記されていない場合には、貸出館より拒絶される。

4. 借受館は申込記録及び供給されたものの記録を、4年目の年末まで保管しなければならない。

5. これらのガイドラインは、1978年の実施から5年以内に再検討される。

CCGに該当する場合

1. 申込日から過去5年以内に刊行された定期刊行物の中の同一論文につき1年に5部まで申込可。

2. 図書からの短い部分であれば、その著作物の全著作権期間を通じて、1年に5回まで申込可。

3. 自館の蔵書からの複製物と同様に扱ってよい場合。

a) 発注中の定期刊行物が未着のため、やむなく他館から複製物を取り寄せるとき。

b) その他の発注中の著作物の複製物を取り寄せるとき。

c) 製本中等のため他館から複製物を取り寄せるとき。

CCLに該当する場合

1. 入手困難資料の全面複製の申込み（108条(e)を見よ）。

2. 公正使用のふれこみでなされた申込み（107条を見よ）。

3. 教室での使用。

4. 著作権者本人からの許可。

5. 非著作権物（米政府刊行物等）。

入手した複製物の帰属について

1. 破損、磨耗、行方不明、盗難の理由で複製物を入手

した場合（108条(c)）——図書館に帰属。

2. 申込者の状況から推定して、公正使用と判断した場合（107条）——図書館に帰属。

以上の場合を除き、適法に入手した複製物は原則として申込者に帰属する。

(NLM 文献 複写 申込書)

A

☐ Borrowing Library Fill in left half of form including both library addresses in full Fold here Send sheets A, B and C to lending library, and enclose shipping label Lending Library Fill in pertinent items under REPORTS, return sheets B and C to borrowing library rev.6/77	Date of request: _____ Not needed after: _____ Requester's order no. _____	Call No. _____ EXECUTIVE DIRECTOR (No. _____) JAPAN MEDICAL LIBRARY ASSOCIATION c/o BUSINESS CENTER FOR ACADEMIC SOCIETIES JAPAN 4-16, YAYOI 2-CHOME, BUNKYO-KU, TOKYO 113 JAPAN	Request for ☐ LOAN or ☐ PHOTOCOPY According to the ALA Interlibrary Loan Code REPORTS: Checked by _____ SENT BY: ☐ Library rate ☐ _____ Charges \$ _____ Insured for \$ _____ Date sent _____ DUE _____ RESTRICTIONS: ☐ For use in library only ☐ Copying not permitted ☐ _____ NOT SENT BECAUSE: ☐ In use ☐ Not Owned ☐ Non Circulating ☐ Request of _____ Estimated Cost of: ☐ Microfilm _____ ☐ Hard copy _____ BORROWING LIBRARY RECORD: Date received _____ Date returned _____ By ☐ Library rate ☐ _____ Postage enclosed \$ _____ Insured for \$ _____ RENEWALS: ☐ No renewals Requested on _____ Renewed to _____ (or period of renewal) _____ Note: the receiving library assumes responsibility for notification of non-receipt.
	For use of _____ Status _____ Dept. _____ Book author: OR: periodical title, vol. and date _____ Book title, edition, place, year, series: OR: periodical article author, title, pages. ☐ This edition only. Verified in: OR: item cited in _____ ISBN, or ISSN, or LC card, or OCLC, or other number if known _____ If non-circulating, & cost does not exceed \$ _____, please supply ☐ Microfilm ☐ Hard copy	NATIONAL LIBRARY OF MEDICINE PUBLIC HEALTH SERVICE 8600 ROCKVILLE PIKE BETHESDA, MARYLAND, 20014 U. S. A.	Request complies with ☐ 108(g)(2) Guidelines (CCG) ☐ other provisions of copyright law (CCL) AUTHORIZED BY: _____ (FULL NAME) Title _____

1. CCG か CCL か（申込書左下の欄）のチェックは、いずれか一方にすること。
2. 申込内容が適法であるか否かの判断の目安として、CCG, CCL 判定規準を必ず参照すること。
 ※ CCG=Conforms to Copyright Guidelines
 CCL=Conforms to Copyright Law

この基準の作成にあたって委員会が使用した資料は、以下の通りである。

- NLM News, vol. 32(12), 1977.
- American Libraries, vol. 8(9), 1977.

おわりに

この解説の作成は、本年1月NLMから当協会事務局にあてた、改正著作権法の施行とそれに伴う文献申込書式の変更を求める通知状に端を発した。このことは、はじめにも書いたとおりであるが、そもそも米国著作権法が1909年以来67年ぶりに改正された真意は何か。これに答えるのは、あるがままの同法の理解を企画したこの解説版の任ではないが、原因の一つに、今世紀後半の技術

革新の産物である電子複写機の出現があること、複写機と図書館との間に深い関係が生じたこと、この二つの事実は図書館員としてはっきり認識しておく必要があると思われる。

翻訳分担は、Iについては全体を三分割して井上、角田、裏田の順に分担し、IIについては主として藤森が、IIIについては主として古沢がそれぞれ分担した。訳語、文体の統一には井上があたった。即ち著作権法、ガイドラインの両原文を通じて頻出語、意味上重要な語を対象に50余語をカード化して統一をはかったが、“Copy”のように著作権法上最重要語の一つでありながら、本法令上も社会通念上も複数の意味に用いられている語をはじめ、使い分けるべき理由が薄弱だと思われる同義語の使

用文例が二、三あった。法律文としてはすこぶる曖昧だ
という米国内での批判^注も背ける気がした。ただし、
このことは我々の拙訳の弁解にはならないと自覚してい
る。また、全体を通じて記述、構成の不満、文体不統一
の責は井上にある。

	る録音物)
Reproducing equipment	複製機器
Reproduction, Duplicate	複製, 複製する
Right	権利
User	利用者

主 要 訳 語 例

Apply, Extend	適用される, 及ぶ
Archives	公文書館
Collection	所蔵資料
Copy	著作物, 複製物
Copyrighted work	著作権物
Distribution	頒布
Exclusive rights	排他的(専有)権
Phonorecord	音盤(所謂レコードの他, 将来開 発されるかも知れない録音装置によ

注:

- Flacks, Lewis I.: Living in the gap of ambiguity;
an attorney's advice to librarians on the copyright-
law. Amer. Libr. 1977 (May): 252—257.
- MLA. The copyright law and the health sciences
librarian. Chicago, 1977.

《相互貸借マニュアル作成委員会メンバー》

東邦大医学図書館 井上英新, 東大医学図書館 藤森
末雄, 慶応大医学情報センター 古沢賢一, 横浜市大
医学部分館 角田昭夫, 慈恵医大図書館 裏田和夫

資 料 1

THE COPYRIGHT LAW TITLE 17 OF THE UNITED STATES CODE

Public Law 94—553 (Oct. 19, 1976)

#107. Limitations on exclusive rights: Fair use

Notwithstanding the provisions of section 106, the fair use of a copyrighted work, including such use by reproduction in copies or phonorecords or by any other means specified by that section, for purposes such as criticism, comment, news reporting, teaching (including multiple copies for classroom use), scholarship, or research, is not an infringement of copyright. In determining whether the use made of a work in any particular case is a fair use the factors to be considered shall include—

- (1) the purpose and character of the use, including whether such use is of a commercial nature or is for nonprofit educational purposes;
- (2) the nature of the copyrighted work;
- (3) the amount and substantiality of the portion used in relation to the copyrighted work as a whole; and
- (4) the effect of the use upon the potential market for or value of the copyrighted work.

#108. Limitations on exclusive rights: Reproduction by libraries and archives

(a) Notwithstanding the provisions of section 106, it is not an infringement of copyright for a library or archives, or any of its employees acting within the scope of their employment, to reproduce no more than one copy or phonorecord of a work, or to distribute such copy or phonorecord, under the conditions specified by this section, if—

- (1) the reproduction or distribution is made without any purpose of direct or indirect commercial advantage;
- (2) the collections of the library or archives are (i) open to the public, or (ii) available not only to researchers affiliated with the library or archives or with the institution of which it is a part, but also to other persons doing research in a specialized field; and

(3) the reproduction or distribution of the work includes a notice of copyright.

(b) The rights of reproduction and distribution under this section apply to a copy or phonorecord of an unpublished work duplicated in facsimile form solely for purposes of preservation and security or for deposit for research use in another library or archives of the type described by clause (2) of subsection (a), if the copy or phonorecord reproduces is currently in the collections of the library or archives,

(c) The right of reproduction under this section applies to a copy or phonorecord of a published work duplicated in facsimile form solely for the purpose of replacement of a copy or phonorecord that is damaged, deteriorating, lost, or stolen, if the library or archives has, after a reasonable effort, determined that an unused replacement cannot be obtained at a fair price.

(d) The rights of reproduction and distribution under this section apply to a copy, made from the collection of a library or archives where the user makes his or her request or from that of another library or archives, of no more than one article or other contribution to a copyrighted collection or periodical issue, or to a copy or phonorecord of a small part of any other copyrighted work, if—

(1) the copy or phonorecord becomes the property of the user, and the library or archives has had no notice that the copy or phonorecord would be used for any purpose other than private study, scholarship, or research; and

(2) the library or archives displays prominently, at the place where orders are accepted, and includes on its order form, a warning of copyright in accordance with requirements that the Register of Copyrights shall prescribe by regulation.

(e) The rights of reproduction and distribution under this section apply to the entire work, or to a substantial part of it, made from the collection of a library or archives where the user makes his or her request or from that of another library or archives, if the library or archives has first determined, on the basis of a reasonable investigation, that a copy or phonorecord of the copyrighted work cannot be obtained at a fair price, if—

(1) the copy or phonorecord becomes the property of the user, and the library or archives has had no notice that copy or phonorecord would be used for any purpose other than private study, scholarship, or research; and

(2) the library or archives displays prominently, at the place where orders are accepted, and includes on its order form, a warning of copyright in accordance with requirements that the Register of Copyrights shall prescribe by regulation.

(f) Nothing in this section—

(1) shall be construed to impose liability for copyright infringement upon a library or archives or its employees for the unsupervised use of reproducing equipment located on its premise: Provided. That such equipment displays a notice that the making of a copy may be subject to the copyright law;

(2) excuses a person who uses reproducing equipment or who requests a copy or phonorecord under subsection (d) from liability for copyright infringement for any such act, or for any later use of such copy or phonorecord, if it exceeds fair use as provided by section 107;

(3) shall be construed to limit the reproduction and distribution by lending of a limited number of copies and excerpts by a library or archives of an audiovisual news program, subject to clauses (1), (2), and (3) of subsection (a); or

(4) in any way affects the right of fair use as provided by section 107, or any contractual

obligations assumed at any time by the library or archives when it obtained a copy or phonorecord of a work in its collections.

(g) The rights of reproduction and distribution under this section extend to the isolated and unrelated reproduction or distribution of a single copy or phonorecord of the same material on separate occasions, but do not extend to cases where the library or archives, or its employee—

(1) is aware or has substantial reason to believe that it is engaging in the related or concerted reproduction or distribution of multiple copies or phonorecords of the same material, whether made on one occasion or over a period of time, and whether intended for aggregate use by one or more individuals or for separate use by the individual members of a group; or

(2) engages in the systematic reproduction or distribution of single or multiple copies or phonorecords of material described in subsection (d): Provided, that nothing in this clause prevents a library or archives from participating in interlibrary arrangements that do not have, as their purpose or effect, that the library or archives receiving such copies or phonorecords for distribution does so in such aggregate quantities as to substitute for a subscription to or purchases of such work.

(h) The rights of reproduction and distribution under this section do not apply to a musical work, a pictorial, graphic or sculptural work, or a motion picture or other audiovisual work other than an audiovisual work dealing with news, except that no such limitation shall apply with respect to rights granted by subsections (b) and (c), or with respect to pictorial or graphic works published as illustrations, diagrams, or similar adjuncts to works of which copies are reproduced or distributed in accordance with subsections (d) and (e).

(i) Five years from the effective date of this Act, and at five-year intervals thereafter, the Register of Copyrights, after consulting with representatives of authors, book and periodical publishers, and other owners of copyrighted materials, and with representatives of library users and librarians, shall submit to the Congress a report setting forth the extent to which this section has achieved the intended statutory balancing of the rights of creators, and the needs of users. The report should also describe any problems that may have arisen, and present legislative or other recommendations, if warranted.

資料 2

94th Congress 2nd Session

HOUSE OF REPRESENTATIVES

(Report No. 94—1733)

The conference committee understands that the guidelines are not intended as, and cannot be considered, explicit rules or directions governing any and all cases, now or in the future. It is recognized that their purpose is to provide guidance in the most commonly-encountered interlibrary photocopying situations, that they are not intended to be limiting or determinative in themselves or with respect to other situations, and that they deal with an evolving situation that will undoubtedly require their continuous reevaluation and adjustment.

With these qualifications, the conference committee agrees that the guidelines are a reasonable interpretation of the proviso of section 108 (g) (2) in the most common situations to which they apply today.

The text of the guidelines follows :

Photocopying—Interlibrary Arrangement

Introduction

Subsection 108 (g) (2) of the bill deals, among other things, with limits on interlibrary arrangement for copyrighting. It prohibits systematic photocopying copyrighted materials but permits interlibrary arrangements “that do not have, as their purpose or effect, that the library or archives receiving such copies or phonorecords for distribution does so in such aggregate quantities as to substitute for a subscription to or purchase of such work.”

The National Commission on New Technological Uses of Copyrighted Works offered its good offices to the House and Senate subcommittees in bringing the interested parties together to see if agreement could be reached on what a realistic definition would be of “such aggregate quantities.” The commission consulted with the parties and suggested the interpretation which follows, on which there has been substantial agreement by the principal library, publisher, and author organizations. The commission considers the guidelines which follow to be a workable and fair interpretation of the intent of the proviso portion of subsection 108 (g) (2).

These guidelines are intended to provide guidance in the application of section 108 to the most frequently encountered interlibrary case: a library's obtaining from another library, in lieu of interlibrary loan, copies of articles from relatively recent issue of periodicals—those published within five years prior to the date of request. The guidelines do not specify what aggregate quantity of copies of an article or articles published in a periodical, the issue date of which is more than five years prior to the date of the request for the copy thereof is made, constitutes a substitute for a subscription to such periodicals. The meaning of the proviso to subsection 108 (g) (2) in such case is left to future interpretation.

The point has been made that the present practice on interlibrary loans and use of photocopies in lieu of loans may be supplemented or even largely replaced by a system in which one or more agencies or institutions, public or private, exist for the specific purpose of providing a central source for photocopies.

Of course, these guidelines would not apply to such a situation.

Guidelines for the proviso subsection 108 (g) (2)

1. As used in the proviso subsection 108 (g) (2), the words “...such aggregate quantities as to substitute for a subscription to or purchase of such work” shall mean:

- a) with respect to any given periodical (as opposed to any given issue of a periodical), filled requests of a library or archives (a “requesting entity”) within any calendar year for a total of six or more copies of an article or articles published in such periodical within five years prior to the date of the request. These guidelines specifically shall not apply, directly or indirectly, to any request of a requesting entity for a copy or copies of an article or articles published in any issue of a periodical, the publication date of which is more than five years prior to the date when the request is made. These guidelines do not define the meaning, with respect to such a request, of “...such aggregate quantities as to substitute for a subscription to [such periodical].”

- b) with respect to any other material described in subsection 108 (d), (including fiction and poetry), filled requests of a requesting entity within any calendar year for a total of six or more copies or phonorecords of or from any given work (including a collective work) during the entire period when such material shall be protected by copyright.

2. In the event that a requesting entity—
 - a) shall have in force or shall have entered an order for a subscription to a periodical, or
 - b) has within its collection, or shall have entered an order for a copy or phonorecord of any other copyrighted work, material from either category of which it desires to obtain by copy from another library or archives (the “supplying entity”), because the material to be copied is not reasonably available for use by the requesting entity itself, than the fulfillment of such request shall be treated as though the requesting entity made such copy from its own collection. A library or archives may request a copy or phonorecord from a supplying entity only under those circumstances where the requesting entity would have been able, under the other provisions of section 108, to supply such copy from materials in its own collection.
3. No request for a copy or phonorecord of any material to which those guidelines apply may be fulfilled by the supplying entity unless such request is accompanied by a representation by the requesting entity that the request was made in conformity with these guidelines.
4. The requesting entity shall maintain records of all requests made by it for copies or phonorecords of any materials to which these guidelines apply and shall maintain fulfillment of such requests, which records shall be retained until the end of the third complete calendar year after the end of the calendar year in which the respective request shall have been made.
5. As part of the review provided for in subsection 108 (i), these guidelines shall be reviewed not later than five years from effective date of this bill.